

もっと詳しく知りたい！

小規模多機能型居宅介護

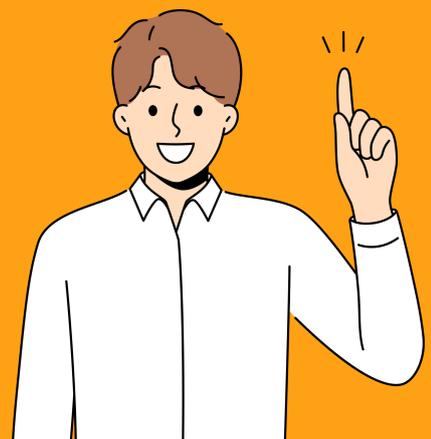
Q&A

在宅介護のお悩み

私たちが解決します！



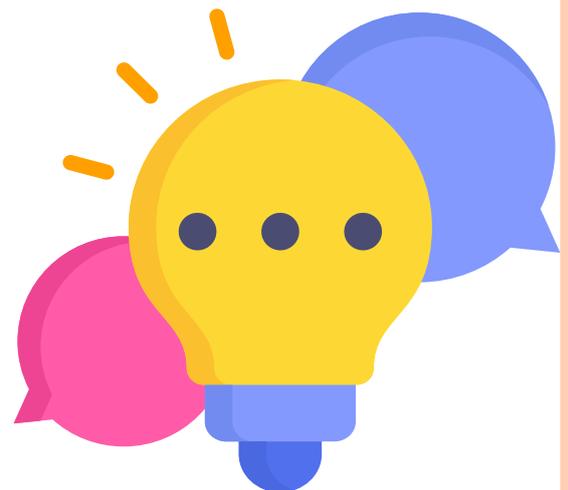
小規模多機能型居宅介護
ケアサポートセンター若水
ケアサポートセンター八雲



Contents

1. この施設はどんな方に向いているの？
2. デイサービスと何が違うの？
3. 訪問介護と何が違うの？
4. ショートステイと何が違うの？
5. 連泊はできるの？
6. 普段から「泊まり」サービスを利用していなくても大丈夫？
7. 他のデイサービスや訪問介護との併用は？
8. サービスの量や内容はどのように決めるの？
9. 利用回数が少ないと割高にならない？
10. 今より重度化したらどうなるの？
11. 利用にあたってケアマネジャーは変わる？
12. 居宅ケアマネジャーの給付管理はどうなる？
13. 区分支給限度基準額はどうなる？

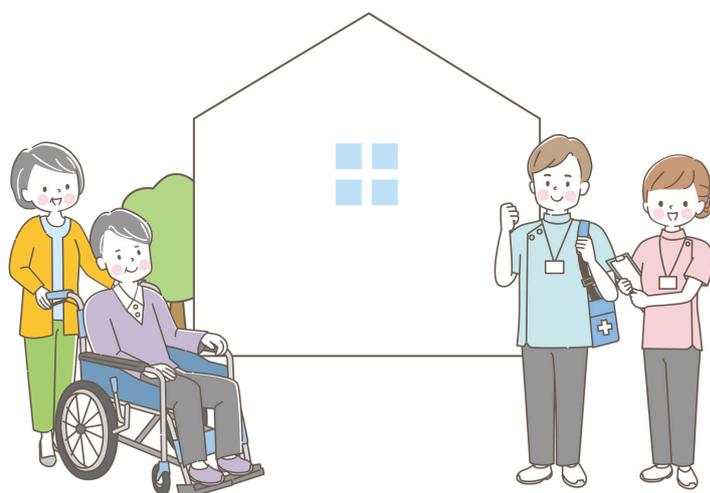
よくあるご質問に
お答えします！



Q1 小規模多機能型居宅介護は どんな方に向いているの？

A 要介護認定を受けている方で、
在宅生活を希望する方、または柔軟な介護
サービスを求める方に向いています。

- ・ 独居の方や高齢のご夫婦など、家族が近くにいない場合でも安心して生活できるようサポートします。
- ・ 仕事や家庭の事情で、サービス利用の予定が変わることが多い方にも対応可能です。
- ・ 介護をしながら仕事を続けたい家族にとって柔軟なサポートが得られるので安心です。
- ・ 大人数でのサービスが苦手な方や、家に閉じこもりがちな方にも、小規模でアットホームな環境が適しています。
- ・ ショートステイが苦手な方にも、通い慣れた場所で自宅のようにリラックスして過ごしていただけます。
- ・ 病院から退院したばかりで、自宅生活に不安がある方やそのご家族にも適したサービスです。
- ・ 施設入所を望まず最後まで自宅で過ごしたいという方にも対応します。



Q2 デイサービスと何が違うの？

- A 小規模多機能型居宅介護の「通い」サービスは、
- ・利用者一人ひとりに合わせて、利用する時間や曜日を柔軟に設定できます。
 - ・必要なことを、必要な時間だけ利用できるのもので、個別のニーズに応じた支援が受けられます。
 - ・緊急時にも柔軟に対応することができます。

Q3 訪問介護と何が違うの？

- A 小規模多機能型居宅介護の「訪問」サービスは、
- ・利用回数や訪問時間、提供するサービスの内容が一人ひとり異なります。
 - ・必要なときに必要なだけサービスが受けられます。
 - ・緊急時にも柔軟に対応することができます。

Q4 ショートステイと何が違うの？

- A 小規模多機能型居宅介護の「泊まり」サービスは、
- ・本当に必要な時に利用でき、急な宿泊希望にも対応可能です。
 - ・利用者が通い慣れた場所で宿泊できるため、安心して過ごせます。
 - ・いつものスタッフや他の利用者と過ごせるため、「顔なじみ」の安心感があります。

Q5 連泊はできるの？

A 状況に応じて可能です。

例えば利用者の状態が重度の場合など、運営推進会議で評価を受ければ連泊が認められます。ただし他の利用者の宿泊に支障が出ないように調整が必要です。

Q6 普段から「泊まり」を利用していなくても宿泊できる？

A はい、利用できます。

普段は「通い」や「訪問」サービスだけを利用しているも、例えばご家族が急な用事で家を空けるときや、利用者自身が一時的に介護の負担が大きくなったときなどに、「泊まり」サービスが役立ちます。状況に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせる利用することができるので、非常に便利です。

Q7 他のデイサービスや訪問介護は使える？

A 他の事業所のサービスは併用できません。

小規模多機能型居宅介護は、通い、訪問、泊りのサービスを組み合わせて提供する介護サービスです。利用者は同じ施設を拠点にして、様々な形態の介護を受けられるため、より柔軟かつ一貫した支援が可能になります。

Q8 サービスの量や内容はどのように決めるの？

A サービスの量や内容は、
次のステップで決まります。

1. アセスメント

ケアマネジャーや介護スタッフが利用者の生活状況や健康状態、希望するサービス内容について詳しく聞き取りを行います。

2. ケアプランの作成

アセスメントの結果を基に、利用者とその家族、医療機関と連携しながら、どのサービスをどれだけの頻度で提供するかが具体的に決められます。

3. サービスの提供

ケアプランに基づいて、「通い」「泊まり」「訪問」の組み合わせでサービス提供されます。要介護度が高いほど、より多くのサービスが提供されます。

4. 定期的な見直し

サービスの提供が始まった後も、利用者の状態に合わせて定期的にケアプランの見直しが行われ、サービス内容も柔軟に調整されます。

要介護度（1～5）によって、利用できるサービスの量や内容に一定の基準がありますが、最終的には利用者の個別のニーズに応じてカスタマイズされます。例えば、要介護度が高い人にはより多くの訪問介護を提供したり、短期入所の頻度を増やしたりすることがあります。



Q9 利用回数が少ないと割高にならない？

A

様々なサービスを一つの施設で受けられることによって削減できる諸経費があります。また急な対応が必要な場合でも、追加料金が不要なことが多いため、総合的に見れば「お得感」を感じていただけたと思います。

費用面だけじゃない！

小規模多機能型居宅介護の魅力

柔軟な対応力

急な予定変更や家族の用事が入った際にも、適切なサポートを提供できるので、ご利用者もご家族も安心して生活を続けていただけます。みなさまのライフスタイルを大切にします。

一貫したケアと信頼関係

同じスタッフが一貫してケアを行うため、ご利用者様とスタッフとの間に強い信頼関係を築くことができます。スタッフはご利用者様の健康状態や日常生活の変化を継続的に把握することができるため、きめ細やかなケアが可能です。

地域とのつながり

小規模多機能型居宅介護は地域に密着したサービスです。ご利用者様は住み慣れた地域で、安心して生活を続けることができます。地域のイベントやコミュニティ活動にも参加しやすく、社会とのつながりを維持することができます。

Q10 今より重度化したらどうなるの？

A 必ずしも他の施設に移る必要はありません。

通い、訪問、泊まりのサービスを組み合わせて提供するため、状態に応じて柔軟に対応できる場合があります。しかし特定の医療ケアが必要な場合や24時間の看護が必要な場合には、より専門的な介護施設や医療機関への移行が考えられます。ケアマネジャーと相談しながら最適なケアを検討します。

Q11 利用にあたってケアマネジャーは変わる？

A はい、変わります。

小規模多機能型居宅介護を利用する場合は、その施設のケアマネジャーが担当しますので、利用者のニーズや状況をしっかり把握し、継続的で質の高いサポートを提供することができます。

Q12 居宅ケアマネジャーの給付管理はどうなる？

A 小規模多機能型居宅介護には専任のケアマネジャーが配置されており、利用者のケアプランの作成や給付管理を行います。その施設のケアマネジャーが居宅ケアマネジャーからの引継ぎを受け、利用者のケアプラン作成や給付管理を行います。

Q13 区分支給限度額はどうか？

A 小規模多機能型居宅介護の利用登録者が毎月支払うサービス利用料は、基本的に区分支給限度基準額の範囲内に収まるように設定されています。要介護度が高いほど区分支給限度基準額も高くなるので、それに応じて利用料も増えることがあります。

例えば要介護1の方と要介護5の方では、それぞれの区分支給限度基準額が異なるため、支払う利用料も異なります。

要介護度に応じた区分支給限度基準額を確認しながら、小規模多機能型居宅介護の利用料金を計算することが重要です。

変わるニーズ、変わらぬ安心

いつもの暮らしを、もっと自由に

